第３回「ミマモリングソフト」ウェビナー
保育実践シート事例のご紹介

第２３８号　２０２１年９月２０日発行

ミマモルジュ挨拶

ホテルに宿泊客の様々な相談や
ご要望に応えるコンシェルジュがいる
ように、保育においても様々な
ご要望や悩みがあると思います。

「見守る」+「コンシェルジュ」=
ミマモルジュとして、保育に関する
ご要望にお応えしていけるよう
活動していきます。

株式会社カグヤ　奥山卓矢

保育実践シート事例のご紹介

８月末に「ミマモリングソフト」を活用したウェブセミナーを開催しました。前編・後編で構成されるセミナーで、ご参加頂いた園の先生方には、子どもたちの発達課題から次回の取り組みたい内容を決めて頂き、シートにして提出をして頂きました！

これまでは文章のみでしたが、今回からは写真も交えて提出して頂くようになり、より実践事例の具体的な様子まで分かりやすくなりました。

今回、２０数個の実践事例が集まりましたがその中から、01 歳児編の実践シートを一つご紹介したいと思います！

今の子どもたちの発達課題に合わせた取り組みは、他園にとっての保育のヒントにもなり、コロナ禍で中々園見学など難しい時期ですが、逆手にとって各園での保育研究によって学びを深めています。

今後は、ソフト内にヒントコメント（保育所保育指針の解説書）だけではなく、参加園の皆様から頂いた「保育実践シート」が見られたり、実践発表動画を観られるようソフトのバージョンアップをしていけたらと考えています！

ただ、そのためにも、ウェビナーに参加をして頂いて、実践事例を皆さんとシェアしながら保育の質を高めていけたらと考えています！

ウェビナー参加園の皆さんには、「保育実践シート集」の中から、さらに詳しく聞いてみたい園の取り組みに投票をして頂きます。

投票数の多い園には後編のウェビナーで実践発表をして頂きますが、今回はどこの園になるのか今から楽しみでなりません！

「保育実践シート」０.１歳児編

保育実践シート

領域：健康

カテゴリー：体を動かす遊び

課題：M0 玩具や身の回りのものを、つまむ、つかむ、たたく、引っ張るなど、手や指を使って遊ぶ。

手作りのフェルトの玩具を準備し、まずは保育者がお手本となり遊ぶ楽しさを伝える。次に子どもが緑・赤の選択を行う。中に入っている赤の模様を一緒に発見し、保育者とのやりとりを楽しむ。

すると

「つまむ」「引張る」という指先を使うことを遊びの中で経験し、当たり外れがあることで繰り返して遊びを楽しみながら保育者と一緒に喜びを共感する事ができた。

保育実践シート

・子どもたちの様子はどう変化しましたか？
（子どもたちの遊び方から学んだことなど）

ままごとゾーンに新しい玩具を準備したことで、周りの子ども達の反応がよく、遊びながらお互いに反応を見合ったり、当たり外れを楽しんでいる子ども達もいた。

保育実践シート

【取り組むとき、どのような工夫をしましたか？】

フェルトにマジックテープをつけ、摘んではがすと中に紐を丸めた三角の模様が出てくる仕組みにしています。
全部のフェルトに模様がついているわけではなく、ついていないものもあり当たり外れのゲーム感覚で興味を持って指先遊びを出来るようにしました。

保育実践シート

・**取り組んでみての課題**

子ども1人1人の発達に合った指先遊びの玩具や見直しが必要だと思います。

・**次にやってみたいこと**

マジックテープを剥がして遊ぶのが少しづつ上手になってきたので次回はスナップボタンなど様々な形状を取り入れていこうと思います。